

企業局刊行物臨時号作成業務仕様書

1 目的

本業務は、お客様及び市民の皆様にご下水道使用料の改定に関する情報を提供し、下水道の重要性、企業努力の内容や企業局の経営状況を知っていただき、使用料改定の必要性に理解を深めていただくことを目的とする。

2 委託期間

業務を委託する期間は、次のとおりとする。

自 契約締結日の翌日

至 令和6年7月19日（金）

3 作成委託部数

一回につき111,000部作成。広報久留米へ折り込み予定。

4 業務内容

(1) 久留米市企業局編集担当者と協議を重ねながらデザイン・レイアウト・版下作成・印刷製本の業務を委託するものである。その際に、受託業者は専門的見地から見やすさ、分かりやすさ、訴求力向上の観点から助言を行うこととする。また、製作した物品の著作権については、すべて久留米市に帰属する。編集や出力に関する打合せに随時来庁すること。

(2) 刊行物の仕様は次のとおりとする。

サイズ	A4両面カラー印刷
頁数	4頁（表紙含む）
紙質	マットコート紙
紙厚	70kg／四六版
背文字	不要
製本	二つ折り 音声コード 切り欠き作業あり

(3) 全体のイラスト・デザインは、受注者にてデザインすること。

(4) 文字については、発注者で文字原稿を用意する。

(5) 写真については、発注者で用意する。

(6) 校正（文字校正、色校正）は最低3回以上行うこと。校正の期日については受注者と発注者で協議のうえ決定する。

色合い等のチェックのため、本紙印刷必要。

(7) 音声コードの仕様については別添1のとおりとする。

(8) 市ホームページ掲載用のPDFデータ（アウトラインなし、仕上がりデザイン）を作成すること。

(9) 納品先は次のとおりとする。なお、100部毎に仕切りを入れておくこと。

納品先	納品枚数
久留米市企業局	1,000部
シルバー人材センター	110,000部

5 著作権

本業務に関する全ての著作権は企業局に帰属するものとする。

6 委託料の支払方法

受託者は、業務完了後に委託料を企業局に対して請求するものとし、企業局は請求書を受理して30日以内に委託料を支払うものとする。

7 暴力団排除に関する事項

当該業務の履行に当たって次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 暴力団から不当要求を受けた場合は、毅然として拒否し、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) 暴力団等から不当要求による被害又は履行妨害を受けた場合は、その旨を速やかに監督員に報告するとともに、所轄の警察署に被害届けを提出すること。
- (3) 排除対策を講じたにもかかわらず、履行に遅れが生じるおそれがある場合は、速やかに監督員と行程に関する協議を行うこと。

8 機密の保持

受託者は、本業務の処理上知り得た一切の情報は機密扱いとし、これを第三者に開示してはならない。

9 その他

その他、本仕様書に定めのない事項については、担当職員の指示に従い業務を実施するものとする。

音声コード技術仕様書

別添 1

品名	久留米の水だより
音声コードの作成	必要 ・ 不要
音声コードの種類	音声コード Uni-Voice (Uni-Voice 事業企画株式会社)
音声コードの原稿への挿入・位置調整	必要 (音声コードの位置については、別添資料の5のとおり)
切り欠き作業	必要 (1箇所) (切り欠きの位置については、別添資料の6のとおり)
デザイン	T字ラインとボディーとの間隔： 1ピクセル以上のスペースが必要 (別添資料の1のとおり)
サイズ	Mモード
誤り訂正	強 25%
解像度	600 dpi のレーザープリンターを推奨。 セル4ドット 分解能 0.169mm (別添資料の4のとおり)
印刷濃度値	・オフセット印刷機 : 0.9 (±0.05) ・レーザープリンター機 : 0.9 (±0.05) ・インクジェットプリンター機： 用紙により値が変動する。 上質系の若干塗料加工のある用紙を推奨。 (別添資料の4のとおり)
用紙	・光沢及び凹凸のある用紙は避ける。 ・上質紙、再生紙 (R100 白色度65%以上)、コード紙。 ・色上質は、薄系統なら各色対応可。 (別添資料の4のとおり)
コード読み取り確認作業	必要 (校正の際に、音声コードを正常に読み取ることができるか確認を行う。)

別紙資料：

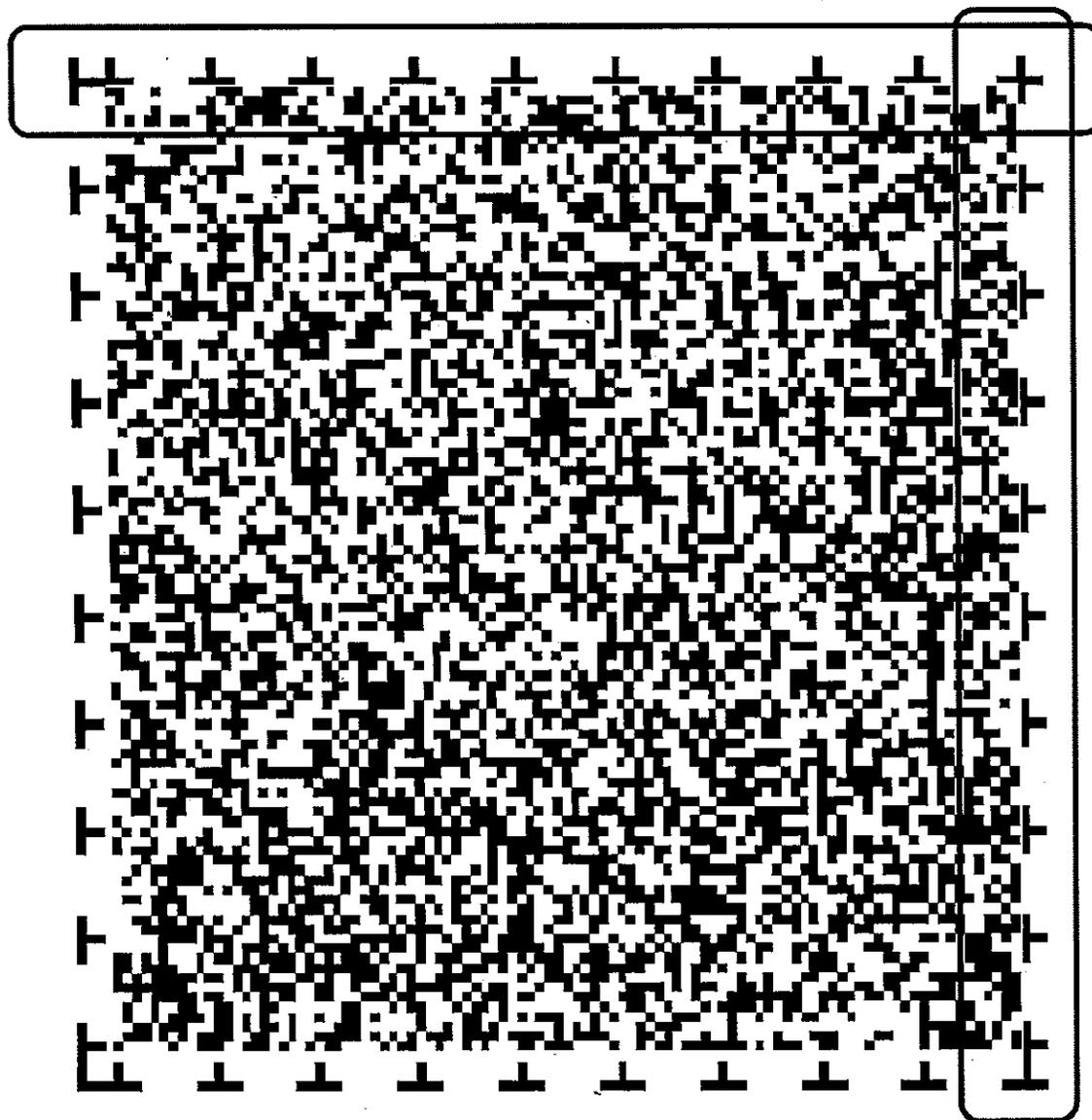
1 音声コードのデザイン規定	1 ページ
2 音声コードのサイズ規定	1 ページ
3 音声コードの誤り訂正規定	1 ページ
4 音声コードの印刷品質規定	2 ページ
5 音声コードの印刷位置	3 ページ
6 音声コードの印刷位置を示すルール	4 ページ

日本視覚障がい情報普及支援協会 (JAVIS) 「音声コード導入研修会」資料から抜粋

携帯電話対応 音声コード技術仕様

1. 音声コードのデザイン規定

T字ラインとボディーの間隔 1ピクセル以上のスペースが必要(新エンコーダーにより作成)



2. 音声コードのサイズ規定

“L”モード 117セル 19.8mm
“M”モード 106セル 17.9mm
“S”モード 73セル 12.3mm
“XS”モード 40セル 6.8mm

* Mサイズを推奨。

3. 音声コードの誤り訂正規定

誤り訂正	強	25%
	中	15%
	弱	10%

* 汚れ、ゆがみ補正を考慮する場合
強を推奨。(収録データ減注意)

* 旧コードの仕様を強化しています。

携帯電話対応音声コード技術仕様

4. 音声コードの印刷品質規定

①解像度 600dpiのレーザープリンターを推奨。

セル4ドット 分解能 0.169mm

②印刷濃度値(PCS値)を規定。

(量産印刷機器評価)

・オフセット印刷機 0.9(±0.05)

・レーザープリンター機 0.9(±0.05)

・インクジェットプリンター機

用紙によって、インクの滲みが影響し、PCS値が変動。

上質系の若干塗料加工のある用紙を推奨。

印刷検証ソフトにて、検証により用紙の選定及びPCS値の設定が必要。

誤り訂正值、強を推奨。セル5ピクセル処理可能(720dpi)。

③用紙規定

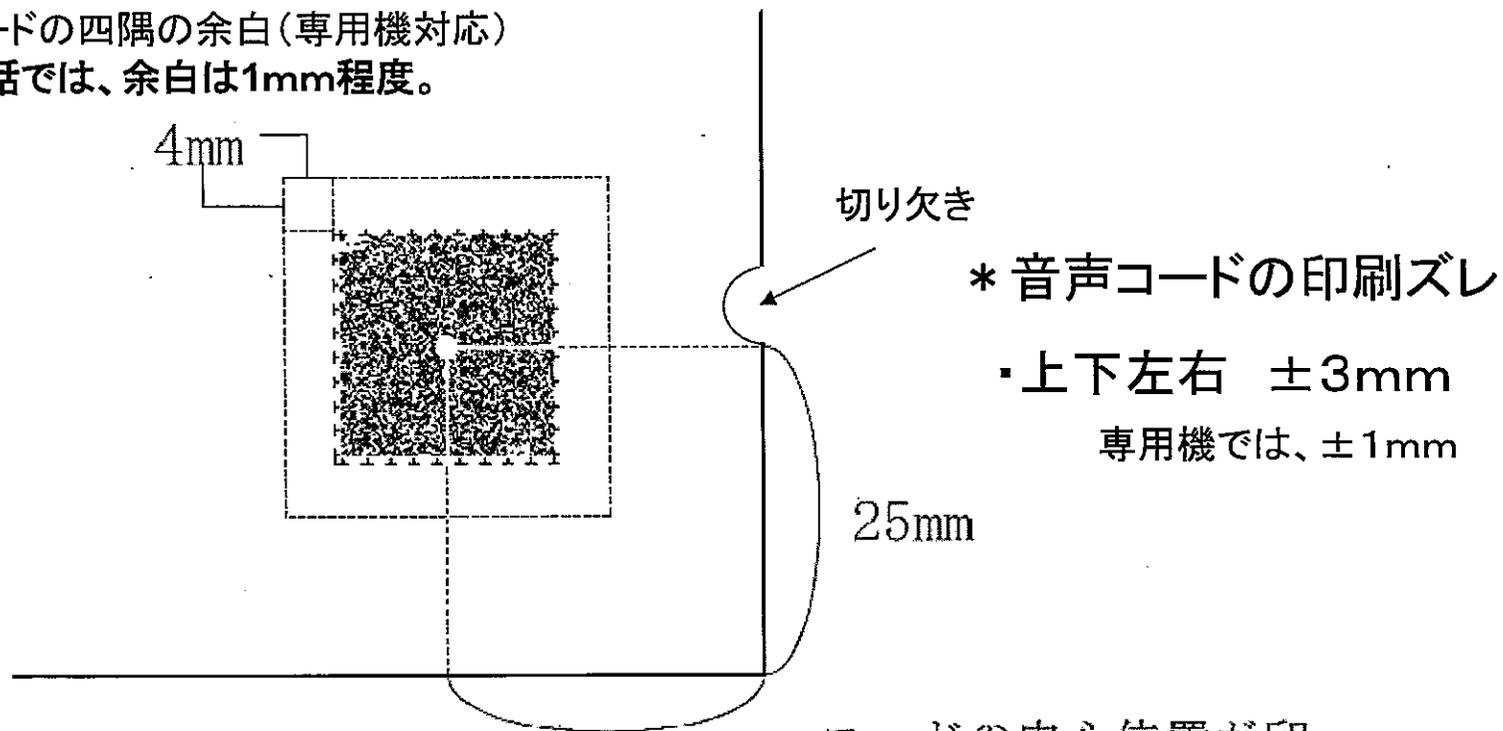
・光沢及び凹凸のある用紙は、避ける。

・上質紙、再生紙(R100 白色度65%以上)、コート紙。

・色上質は、薄系統なら各色対応可。

5. 音声コードの印刷位置

音声コードの四隅の余白(専用機対応)
携帯電話では、余白は1mm程度。

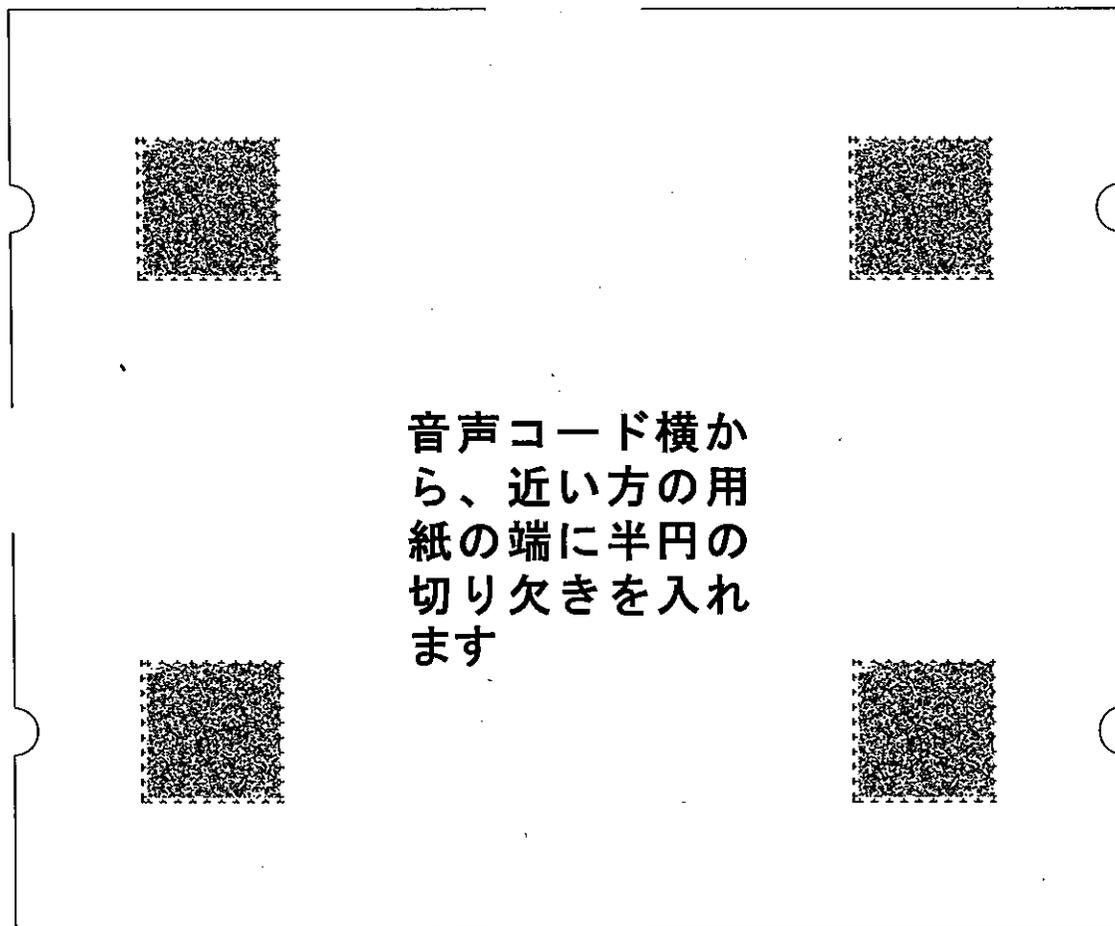


複数頁の冊子で、音声コードを表紙のみに付加する場合、切り欠き加工の効率化のため、全ての頁に加工しても良い。

但し、音声コードの内容にその旨、表記する。

コードの中心位置が印刷物の端から25mmとなるよう配置

6. 音声コードの位置を示すルール



切り欠きは、片面の場合は、一ヶ所。

両面に音声コードがある場合は、上下2箇所入れる。



音声コードに、利用方法の説明ある場合は、切り欠きは1ヶ所でも構いません。

